

長 坂

玄海に 波音高く

平戸市立生月中学校
学校だより 第3号
(令和5年 5月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

『天晴(あっぱれ)！』 ～ 令和5年度 第57回 体育大会 が開催されました ～

5月14日(日)、日程・実施種目こそ縮小したままでしたが、4年ぶりに来場者の制限を無くし、保護者の皆様だけでなく、ご家族やご来賓、地域の方々にもご来場いただき、今年度の体育大会が開催されました。

実行委員長の田中杏奈さん、副委員長兼応援リーダー長の森永晃明くん、応援リーダー長の川村莉夏さんを中心に、実行委員会・応援リーダーの生徒達が中心となり、学年対抗の体育大会に取り組んでくれました。

当日は、鴨川桜部長を中心に芸術・科学部の生徒が製作してくれた立派な大会スローガンパネルが見守るなか、これまでの練習の成果をいかに発揮し、『天晴(あっぱれ)』というスローガンに込めた思いを、生徒一人一人が、競技で、演技で、達成してくれました。特に、今年度は、全校応援と全校ダンスを融合した「全校パフォーマンス」で、練習から本番まで、全校生徒が心をつなげた取組が見られました。また、開会式での生徒会長の白石真央さんのあいさつや閉会式での田中実行委員長のあいさつ、解団式での田中実行委員長・応援リーダー長の森永くん・川村さんのあいさつなど、リーダーとなった生徒が、みんなの前で自分の思いを堂々と表現できていたことに、大変、感動するとともに、とてもうれしく思いました。私だけでなく、先生方も、体育大会という学校行事を通して、生徒の皆さんの確かな成長を感じた場面でした。生徒の皆さん、ありがとう。

保護者の皆様、ご来賓・地域の皆様、多数ご来場いただき、本当にありがとうございました。



『進時代 ～ We can't stop ～』 ～ 令和5年度「生徒総会」 ～

4月27日(木)、今年度の生徒総会が行われました。中学校では、自分達の学校生活を自分達でより良いものにするために、「生徒会」が組織され、本部役員を中心に、全校生徒が専門委員会活動や学級会活動を行っています。生徒会の最高意思決定機関である「総会」では、本年度の活動方針や各専門委員会の活動計画、各学級からの提案等、様々な議題について、活発な議論がなされました。本年度も、国連が定めた「SDGs(持続可能な開発目標)」の実現に向けた活動を継続すること、特に、「No.10 お互いを尊重し合う」集団を目指すことや、各専門委員会でも関係の深い項目を取り入れて活動することが決められました。

現在、本部役員・各専門委員会とも、大変、意欲的に活動を開始していますが、特に、文化委員会の放送活動では、今年度、全校生徒・全職員の誕生日の紹介が行われています。放送での紹介のあと、全校生徒が声をそろえて「おめでとう！」という声が、学校全体に響きます。自分の誕生日が来るのが、今から楽しみです。

生徒会活動を通して、生徒の「自治力」や「自主・自立・自律」の精神が育っていることを感じ、大変、頼もしく、うれしく思いました。今年度も、生徒会スローガンに込めた思いが、達成されることを期待しています。

